

浦河町地域公共交通確保維持改善協議会

平成24年7月4日設置



概要

当町の公共交通は、昭和61年まで国鉄バスによる杵臼線・向別線の2路線が存在したものの、この路線の廃止後は、日交ハイヤー株式会社により代替バスが運行されている。この他、ジェイ・アール北海道バスの日勝線、町が路線存続を求め委託運行している野深線、道南バスが新ひだか町から浦河町までの日高沿岸線を運行しており、浦河町内で3事業者が5路線を運行している。また、鉄道はJR日高本線(町内5駅)が運行されている。

公共交通の利用者数は減少傾向にあり、町内の基幹医療施設である浦河赤十字病院への通院や買い物等の利用についてもバスの乗り換えを伴う地区が存在することや、新興住宅地区の交通空白地域や自動車を持たない交通弱者に対する通院や買い物手段の確保など、町内における総合的な交通体系の在り方の検討が必要となっている。

○地域公共交通の現況

- ・JR日高本線(荻伏駅、絵笛駅、浦河駅、東町駅、日高幌別駅)
- ・ジェイ・アール北海道バス(株)(町内2路線)
- ・道南バス(株)(町内1路線)
- ・日交ハイヤー(株)(町内2路線)

○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用低下
- ・交通空白地・交通不便地域の交通格差
- ・高齢化の進行に伴う交通弱者の増加

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査(バス・JR乗降調査)
- ・交通に関するニーズ調査(町民アンケート調査)
- ・町内事業所等へのヒアリング調査

○地域公共交通確保維持改善協議会開催状況

- 7月 4日 第1回協議会 設立・規約・予算等について
- 11月14日 第2回協議会 バス・JR乗降調査・町民アンケート調査の概要及びヒアリング調査の実施状況報告について
- 2月19日 第3回協議会 調査結果報告について
- 3月 6日 第4回協議会 計画素案について



浦河町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

町内15歳以上の町民全員を対象にした住民アンケート、公共交通利用者の乗降調査、事業所に対するヒアリング調査の実施を通じ、現況の公共交通の利用実態及び住民の交通に関するニーズを把握した。これらの調査結果から地域の実状に合わせて町内をエリア分けした上で、エリアごとに改善を要する課題の抽出、改善策の提案、運行形態や運行経路のモデルケースの提案及び検討を行った。

●調査事業実施の適切性

協議会の協議により、住民アンケートの質問項目や説明資料など、できる限りわかりやすく作成し、利用実態や満足度住民ニーズの把握に努めた。

調査事業は、適切に実施されて、今後の計画策定につながるものとなった。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

新年度(平成25年度)においては、今回の調査事業で作成した「浦河町地域公共交通確保維持改善計画(素案)」を基に、地域の声を反映させるべく住民説明会やパブリックコメントを実施し、より具体的な改善策・方針等を盛り込んだ「浦河町地域公共交通確保維持改善計画」を策定する。また、必要に応じて既存の公共交通の活用や新たな交通システムの導入に向けた実証運行の実施を検討する。

申請を行う補助事業名:未定

事業内容:未定

実施時期:未定であるが計画策定後1年以内

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

・調査結果に基づく新たな交通システムの導入検討に当たっては、最適な手段が導入できるよう、道外も含めた類似事例の収集や、実際に利用する可能性が高い人を対象にしたニーズ調査とその結果を緻密に分析した上での導入シミュレーション、実証調査等を綿密にされたい。またその際、既存の路線バス、スクールバス等との役割分担や乗り継ぎ円滑化に留意されたい。